

Glocal Tenri



8

月刊 **グローバル天理** Monthly Bulletin Vol.15 No.8 August 2014

天理大学 おやさと研究所 Oyasato Institute for the Study of Religion, Tenri University

CONTENTS

- 巻頭言
三代真柱を偲んで
／深谷忠一 1
- 天理教教理史断章 (83)
近愛文書④
／安井幹夫 2
- 『教祖伝』探究 (2)
「ひながた」の前置
／深谷忠一 3
- 天理教伝道史の諸相 (32)
その他の地域の海外伝道
／早田一郎 4
- 「おふでさき」天理言語学試論～「こと」的世界観への未来像～ (4)
第1章「もの」と「こと」の意味論②
／井上昭夫 5
- 「おふでさき」の有機展開 (28)
中間考察②
／深谷耕治 6
- 新宗教のブラジル伝道 (16)
キリスト教の変容⑬
／山田政信 7
- 「いのち」をつなぐ一生死の現象 (32)
「いのち」について③
／堀内みどり 8
- ノーマライゼーションへの道程 (30)
デンマーク事例②
／八木三郎 9
- 東日本大震災と宗教 (2)
「心の相談室」の設置
／澤井治郎 10
- 天理参考館所蔵の漢族資料 (10)
民間版画②
／中尾徳仁 11
- ヴァチカン便り (9)
法王、マフィアを糾弾
／山口英雄 12
- 図書紹介 (84)
『木材と文明—ヨーロッパは木材の文明だった』
／福井孝三 13
- English Summary 14
- おやさと研究所ニュース 15
台湾の東アジア宗教国際シンポジウムで発表 (金子昭) / 鶴見大学仏教文化研究所シンポジウムで発題 (金子昭) / おやさと研究所「開講 20周年記念・公開教学講座」のお知らせ

巻頭言

3代真柱を偲んで

おやさと研究所長 深谷忠一 *Chuichi Fukaya*

中山善衛 3代真柱が、平成 26 年 6 月 24 日にお出直しになりました。『改訂天理教事典』に記されたところより要約・抜粋して、そのご功績を偲ばさせていただきます。

中山善衛 なかやまぜんえ

昭和 7 年 (1932) 7 月 7 日、2 代真柱中山正善、せつの長男として生まれる。昭和 24 年 10 月 26 日、真柱継承者に選定され、昭和 42 年 11 月 14 日、中山正善出直しにともない真柱となる。昭和 30 年 3 月 20 日、慶應義塾大学文学部史学科卒業。昭和 33 年 2 月 7 日、土佐まさと結婚、善司、よしの、善亮、みやの、いくの、善平の 3 男、3 女がある。

昭和 30 年 3 月、大学を卒業して帰郷、多忙な父真柱を助けて、教団の枢要な働きをするようになった。特に前年より始まったおやさとやかたの建設に若い力を発揮、翌 31 年 4 月 1 日には、やかた建設は青年会の手で、「おやさとふしん青年会ひのきしん隊」を発足し、自ら隊長となって推進した。

昭和 30 年 9 月 27 日、おつとめ研究とあらゆる音楽を通して教えを深めるとともに人々に伝え、歌い奏でることによって互いに一手一つの心を求め、自ら陽気ぐらしを味わうことを目的として、天理教音楽研究会が発足し、会長となった。

昭和 34 年 4 月には、奈良教区修理人となり、県内 441 カ所の教会を巡教、36 年 3 月には、修理人及び青年会長として初めて、未だ本土復帰を果たしていない沖縄を訪問、管内教会を巡教して教友を励ました。

昭和 40 年 5 月 26 日、全よふぼくの会であるよのもと会が再発足されるにあたり、会長に就任した。翌年の総会には「三

年に一人のよふぼくが三人のよふぼくを」の「一・三・三運動」を提唱、同会による全教区一斉巡教が行われて、地域別おぢば帰りが実現した。

昭和 41 年 9 月 28 日には、教えが次世代へ受け継がれる、縦の伝道を全教的なこととして考え実働するために、天理教少年会を設立、会長に就任した。少年会の結成によって、夏のこどもおぢばがえり及び少年会ひのきしん隊をはじめ各団、隊の活動が活発になされるようになった。

昭和 42 年 11 月 14 日、2 代真柱の突然の出直しにより、真柱を継承し、その奉告祭を翌年 43 年 10 月 25 日に執行されるや、同日「諭達」第 1 号を公布、2 代真柱の提唱した三信条は、教祖のひながたを辿ることによって実現されることを論じ、教祖の道具衆としてのよふぼくの奮起を促すとともに、「内を治めるしんばしら」の御神言のままに、初代、2 代真柱の歩んだ道の上にたつて、さらに歩みを進めることになった。

海外へは、昭和 29 年の 2 代真柱の随行者としての 3 カ月半の欧米への巡教を嚆矢として、アメリカ、ハワイ、ブラジル、台湾、韓国の各伝道庁の庁長就任奉告祭・記念祭参拝や管内巡教、また、その他、コンゴ、フランス、ドイツ、メキシコ、コロンビア、ペルー、タイ、シンガポール等、教会本部の拠点や管内教会、布教所まで足を伸ばして、布教の労をねぎらうとともに、自ら伝道の足跡を残している。

紙幅の都合で全部は書ききれませんが、この他にも、まだまだ多くの業績をお残しくださいました。厚く御礼を申し上げ、お別れをさせて頂きたいと存じる次第です。